

内外産業株式会社
第 72 期 環境経営レポート



作成日： 2024年12月20日

環境経営方針

シーラ関連製品の販売事業活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、全社一丸となって自主的・積極的・継続的に、環境保全活動に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守することに努めます
2. 電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます
3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進に努めます
4. 水使用量の削減に努めます
5. 化学物質の適正管理に努めます
6. 簡易包装により、顧客の廃棄物削減に努めます

○ 環境経営方針は、全従業員に周知します。

制定日：2014年7月15日

改定日：2020年3月5日

代表取締役社長 藤原 稔也

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

内外産業株式会社

代表取締役社長 藤原 稔也

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市西区京町堀2丁目14番20号

彦根営業所・彦根工場 滋賀県彦根市小泉町78-12

伊丹営業所・伊丹工場 兵庫県伊丹市北河原5丁目1番5号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 藤原 崇行
担当者 管理部 山下文恵 TEL：06-6441-6391

(4) 事業内容

シール関連製品の加工及び販売、産業機器製品の製造

主要製品：パッキン、バルブ

(5) 事業の規模

製品出荷額 35.02 億円

	本社	彦根営業所 彦根工場	伊丹営業所 伊丹工場	合計
従業員	30	25	6	61
延べ床面積	850	1,321	1,458	3,629

(6) 事業年度 10月～9月

(7) 認証・登録の対象組織・活動

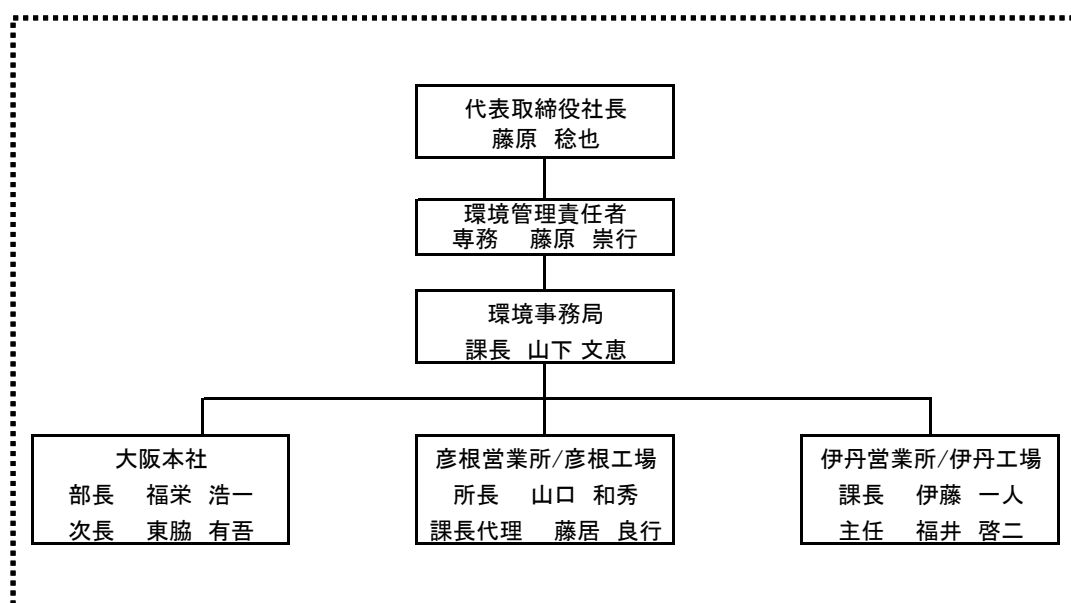
登録事業者名： 内外産業株式会社

対象事業所： 本社
彦根営業所・彦根工場
伊丹営業所・伊丹工場

対象外： なし

活動： シール関連製品の加工及び販売、産業機器製品の製造

(8) 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命、責任及び権限を定め、各自の役割を全従業員に周知 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・全体の評価および課題とチャンスを確認し、環境管理責任者に必要な指示を出す ・環境活動レポートの承認 ・実施体制の構築 ・経営資源を用意をする
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21の取組推進 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	68期	69期	70期	71期	72期
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	104,845	102,429	103,496	95,979	91,425
電力による二酸化炭素		72,734	67,070	69,650	66,099	62,922
自動車による二酸化炭素		32,111	35,359	33,846	29,880	28,504
廃棄物排出量	トン					
一般廃棄物排出量		3.6	3.5	3.6	3.1	2.7
産業廃棄物排出量	トン	29	32	22	21	17
総排水量	m ³	1,996	1,844	1,809	1,685	1,707

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.516 kg-CO₂/kWh

◆0.516kg-CO₂/kWh(関西電力2013年度調整後の排出係数)

□環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	基準年	72期 2023年10月1日～2024年9月30日		73期	74期
			(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		83,430	75,921	62,922	75,087	74,253
	基準年比		62期・65期	91%	75%	90%	89%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		50,540	45,992	28,504	45,486	44,981
	基準年比		62期	91%	56%	90%	89%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		133,970 62期	121,913 91%	91,425 68%	120,573	119,233
一般廃棄物の削減	kg		3,912	3,559	2,739	3,520	3,481
	基準年比		63期	91%	70%	90%	89%
産業廃棄物の削減	t		34.4	32.4	17.3	32.02	31.67
	基準年比		64期	94%	50.3%	93%	92%
水道水の削減	m ³		2,262	2,059	1,707	2,036	2,013
	基準年比		62期・66期	91%	75%	90%	89%
化学物質の適正管理	kg		61		35		
			63期	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
製品・サービスへの環境配慮(ダンボール新規購入量)	kg		963	934	0	924	887
			68期	97%	目標達成	96%	95%

※電力の二酸化炭素の削減の項目において、彦根営業所・彦根工場は2016年2月に移転、基準年を62期から65期に変更している

※移転後の彦根ではウォーターカッターの使用による水の使用量の増加により基準年を変更している

※73期、74期の目標については、基準を69期とし、目標値は再設定する予定である。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減			
数値目標	○	コロナ禍も落ち着き、売上が前年度比約25%増のなか5%削減出来ている。さらに削減が出来るよう細部にまで節電を心掛ける。 又、来期（73期）からは基準年度を69期の結果に変更し、更なる削減に尽力する所存である。	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△		
・不要照明の消灯	○		
・パソコン、コピー機等のOA機器を省電力に設定	○		
・エレベーターの使用を控え、階段を使用する	○		
・作業改善・業務改善の推進（部門別活	△		
・夜間、休日はパソコン、プリンターの主電源を切る	○		
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○	コロナ禍が落ち着き人々の交流が復活したが前期同様削減が維持されている。企業全体において営業の在り方に変化があったように思われるが、このまま更なる削減が出来るよう営業の有用性を意識した行動を心掛けたい。	
・アイドリングストップ	○		
・効率的なルートで配送	○		
・エリア別営業活動の見直し	○		
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	前期同様、削減は行っていた。一般廃棄物の類型に関しても削減が行えていたので、今後も資源の削減および再利用化を徹底していく。	
・分別の徹底	△		
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○		
・帳票見直しによる印刷物の削減	△		
・梱包材の再利用	○		
・			
産業廃棄物の削減			
数値目標	○	基準年と比べ、50%まで削減できている。引き続き、廃棄量が増加しないよう、徹底していく。	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○		
・素材別ボックスの設置	○		
・リサイクルしやすい製品の購入	○		
・3S活動の推進	△		
化学物質の適正管理			
数値目標	-	適性に管理が出来ている。	
・有害性物質の表示の徹底	○		
・容器の蓋の徹底	○		
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○		
・代替物質の検討	△		
水道水の削減			
数値目標	○	前期と比べると微増しているが概ね目標を達成出来ている。	
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○		
・節水弁取り付け	○		
・自動水栓取り付け	○		
・トイレに擬音装置取り付け	○		
製品・サービスへの環境配慮			
数値目標	○	当社の梱包用ダンボールはすべて再利用しており、梱包用ダンボールの購入は0である。	
ダンボール容器の再利用化	○		
プラスチックダンボールの使用を開始	○		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、木くず）
騒音・振動規制法	コンプレッサー
消防法	危険物は届出数以下で保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年12月20日

コロナ禍が終息する兆しのなか、売上が前年度比25%増を達成した。売上が伸びるなか、全体的に見ると電力消費、自動車燃料消費は比較的低く抑えられたと考える。しかし大阪本社の電力消費に限っては目標値に届かない月が多く一人一人の意識改革への取り組みが必要である。自動車燃料消費は今後も営業活動の有用性を考慮しつつ低い水準を保てるよう努力する。本年の実施体制について、環境事務局担当者の異動を行ったが、引継ぎも順調に進んでいる。その他の体制については、変更無しである。

見直し項目	変更の有無	内容
環境経営方針	変更なし	環境事務局担当者の変更
環境経営目標・計画	変更なし	
実施体制	変更あり	

□これまでの環境活動の主な取組

- ・大阪本社
照明のLED化



- ・彦根営業所/彦根工場
照明のLED化、業務用エアコンの更新



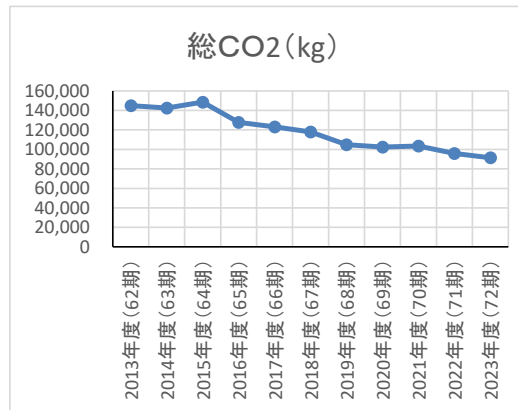
- ・伊丹営業所/伊丹工場
照明のセラミックメタルハライド化



(2) 総二酸化炭素排出量の推移

・総CO₂(電力及自動車燃料)の推移

	総CO ₂ (kg)
2013年度(62期)	144,995
2014年度(63期)	142,478
2015年度(64期)	148,581
2016年度(65期)	127,747
2017年度(66期)	123,132
2018年度(67期)	117,839
2019年度(68期)	104,845
2020年度(69期)	102,429
2021年度(70期)	103,496
2022年度(71期)	95,979
2023年度(72期)	91,426



・原単位(総CO₂/百万円)の推移

	【総CO ₂ (kg)/百万円】
2013年度(62期)	89
2014年度(63期)	81
2015年度(64期)	78
2016年度(65期)	64
2017年度(66期)	56
2018年度(67期)	51
2019年度(68期)	48
2020年度(69期)	49
2021年度(70期)	44
2022年度(71期)	34
2023年度(72期)	26

